

「認知」から「誹謗中傷行為」までの心理メカニズム

1210460 杉本 悠貴

高知工科大学 経済・マネジメント学群

1. 概要

近年、スマートフォンの普及が SNS 利用へと転じ、誰しもが匿名で自分の思いを自由に表現できるようになった。しかし、一方でその匿名での「自由度」が人を死に追いやることも問題視されている。特に 2020 年に某恋愛リアリティショーの出演者が逝去し、話題となった「誹謗中傷」だ。その後も「誹謗中傷」が原因で亡くなったとされる芸能界の方もいる。SNS の普及は様々な利点を生み出す反面、言葉、文面だけで人間を死に追いやることが出来るツールともなった。これは、一つ一つの言葉が大きく取り上げられていないだけで由々しき社会問題である。そこで私は TikTok を対象とし、研究を行った。TikTok において視聴者は他人である投稿者を短時間で印象形成し、「誹謗中傷行為」までに至っている。そこで先行研究や既存の心理学モデルから仮モデルを作成し、それを検証するために TikTok 内の動画を「いいね数・コメント数・攻撃性の有無」の 3 点から 100 個の動画を徹底的に分析した。その結果 3 種類に選別できた。そして、それぞれの動画に対し、「悪印象」から「誹謗中傷行為」までにどのような動機付けがあるか、また、作成した仮説モデルにおける「認知」から「誹謗中傷行為」までのメカニズムを予備調査（アンケート調査）、本調査（アンケート調査）を通して一部明らかにした。

*TikTok とはスマートフォン向けの動画共有サービスアプリの一つであり、短時間の動画を加工・編集して共有することができる。

2. 背景

近年、一層 SNS の利用方法、特に「誹謗中傷」へ注目が集まっている。総務省の「SNS 上での誹謗中傷への対策に関する取り組みの大枠について（2020 年 8 月）」によるとインターネット上の人権侵害情報に関する人権侵害事件は、平成 23 年以降増加し続け、平成 29 年度に過去最高（平成 13 年の現行統計開始以降）の件数を更新し、令和元年度は過去 2 番目に多い件数を記録している。最近では 2019 年に「3 年 A 組」というドラマで SNS における他者に対する匿名での攻撃が取り上げられ、2020 年には youtuber や某恋愛リアリティショー出演者の母親が娘に対する「誹謗中傷コメント」の投稿者に対して少しずつ提訴するなど社会的にそれ

に対する感度が高まってきているように思う。それに伴い、ドラマ放送後や凄惨な事件の直後は「誹謗中傷」を注意喚起する方々も現れ、そういったコメントも減ったように感じていたが「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ということわざの通り、「誹謗中傷コメント」が少し治まった時期は一時のものだ。さらにはその注意喚起する方々へ向けてまた誹謗中傷するという悪循環に陥っていたように思う。アプリ利用開始当初は「攻撃性の高い」コメントはあまり見なかったように思うが近年では毎日、様々な動画に「誹謗中傷コメント」が残されている。

そこで純粋に「何故このようなコメントをわざわざ残していくのか」と疑問に思った。それをしなければ動画の投稿者も他の視聴者も皆が気持ちよく利用できるのではないか。そこで、そういった行動の背景にはどのような思いがあるのか、他者（投稿者）の「認知」から「行動」までのメカニズム、また、対象が「悪印象」であってもそれが「誹謗中傷行為」に繋がるまでの動機を自分で細部に至るまで調べてみたくなかったことが本研究の背景となっている。

3. 目的

本研究の目的は TikTok において対象（動画）を「認知」してから「誹謗中傷コメントを書き込む」という行為に至るまでのメカニズムを一部解明することである。

本研究の社会目的は社会問題となっている SNS における「誹謗中傷」問題を今一度見直すことへ寄与することである。

なお、本研究における「勝手な想像」とは先入観のような既存の枠組みが自分に存在しない状況でも対象に興味を持ち、勝手に対象のイメージを膨らましてしまい、対象を分析してより詳細な情報で印象を形成することとする。

4. 研究方法

本研究は、はじめに、認知心理学の既存モデルや理論、先行研究から対象の「認知」から「行動」までの仮説となるモデルを形成する。その後、このモデルの「認知」から「行動」までのルートの正誤、また、「悪印象」から「誹謗中傷行為」までの動機付け

は何か、という点をアンケート調査にて検証する。

「動機付け」は仮説モデルを立てる過程で私自身の経験や先行文献から動機の源泉は「嫉妬」ではないかと考察した。そこで「嫉妬」が根源となり、負の行動へと繋がる動機付けを調査したところ①ドリームキラー②自己評価維持モデル、この2点がこの構造に関係すると判断した。

その後、TikTokにおける動画の種類によって「誹謗中傷」の度合いが異なるため、「いいね数・コメント数・攻撃性の有無」の3点から100個の動画を徹底的に調査した。結果、

- ①コメント率高×攻撃性有
- ②コメント率高×攻撃性無
- ③コメント率低×攻撃性無

この3種類に分けることができた。

*「コメント率」とはいいいね数に対するコメント数の比率である

その3種類に対してどの「動機付け」が働いているのかを予備アンケートにて調査すると動画③には「攻撃性有」のコメントを求めても集まりづらかったため、本番のアンケートでは除外した。その後、③を除いた2種類の動画と「動機付け」を照らし合わせる本番のアンケートを実施した。その結果から、「認知」から「行為」までのメカニズム、加えて、「行為」への「動機付け」を一部明らかにした。

5. 仮説設定

仮説を紹介する前に本研究の分野である「認知心理学」と「誹謗中傷」の説明をしたいと思う。

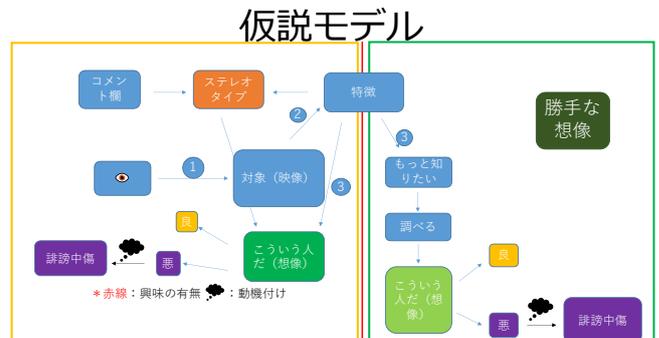
まず、「認知心理学 (cognitive psychology)」とは私たち人間が、自分を取り巻く自然的環境や人間社会をどのように認識し、そこからどのような知識をどのように獲得しているのか、さらに獲得した知識をどのように蓄積し、利用しているのか、また、どのようにして新しい知識を作り出しているのかという問題、すなわち認知 (cognition) の問題を、日常生活や実験室の中における人間の行動の組織的な観察に基づいて、科学的に明らかにしようとする心理学である。これらの問題はすべて、心 (mind) の働きに直接関係する問題であり、認知心理学は心の働きを明らかにしようとする科学であるといえる。(引用：「認知心理学」について—認知心理学への招待 [改訂版] 心の働きとしくみを探る—サイエンス社—御領 謙・菊地 正・江草浩幸・伊集院睦雄・服部雅史・井関龍太 共著)

次に「誹謗」とは他人へ悪口を言ったり罵ったりする行為を、「中傷」とは根拠のない嘘やでたらめを述べる行為をそれぞれ意味する。この2つの言葉は元来独立して使われてきたが、近年この2語がしばしば合体して「誹謗中傷」としてよく使われるようになってきた。「誹謗中傷」はデマや揶揄、罵倒、愚弄、嫌がらせなどを含む「言葉による暴力」と同じ意味である。(引用：子どもを守る防犯用語事典 (kids-bouhan.jp))

本テーマについて様々な視点から調査を行ったが、本テーマを扱った事例はない。

先行研究や認知心理学の1つのモデルである「連続体モデル」を基にTikTokにおいて「対象の認知」→「誹謗中傷行為」までは2つのルートがあると考えた。それは「対象に対する興味の深さ」を境界として

(1). 【本研究の仮説モデル】



- ①興味が浅い→「ステレオタイプ」を用いる (赤線を境に左側)
- ②興味が深い→「勝手な想像 (妄想)」を用いる (赤線を境に右側)

この2つである。

また、紫色の「悪印象」が「誹謗中傷行為」へ変わるまでの動機付けも調査したいと考えた。そこで、負の行動に繋がる動機付けを抽出し、それを自身で種類分けした3種類のTikTokの動画に当てはめた。仮説をまとめると、

仮説① 認知から行動までの2つのルート

仮説② 「悪印象」から「誹謗中傷行為」までの動機付けが自身で調査した2点になるのか

この2点になる。

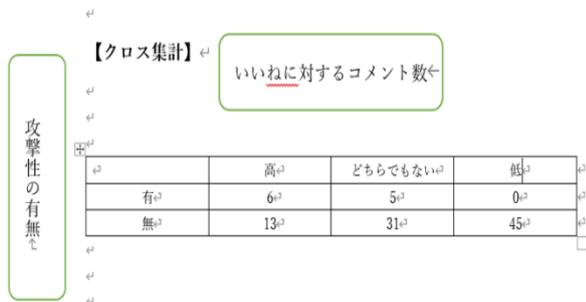
6. 予備調査

6-1 動画の種類分けに関する予備調査

TikTokでの動画は動画内容からそれに対する「いいね」や「コ

メント」の数まで到底一括りには出来ない程の違いがある。そこで私は動画を「いいね数・コメント数・攻撃性の有無」の3つの観点から100個の動画を分析し、種類分けした。その方法は、TikTokの「おすすめ動画」を流れてくる順に100個無作為（幾つかルールは設けた）に抽出し、その動画1つ1つのコメント率（いいね数に対するコメント数）とコメント上位20個の一次コメント（Instagramでのアンケートを基に）における「攻撃性の有無」を比較した。そして、それをクロス集計した。その結果

(2). 【予備調査結果のクロス集計】



6-2 「動機付け」と「動画の種類」の関係性を調査するための予備アンケート

私自身が4で示した負の行動へ繋がると考えた2つの動機付けが6-1で示した3種の動画にどのように反応するのかを検証するために、私が所属している研究室の学生9名にアンケート調査を行った。

[予備アンケート内容]

- ①あなたはこれまで SNS 上で誹謗中傷しようと考えた経験がありますか？→はい・いいえ
- ②あなたはこれまで SNS 上で誹謗中傷をした経験がありますか？→はい・いいえ
- ③この問いはあなたが次の対象（映像を含む）を見て、誹謗中傷をする前提で答えてください。あなたが誹謗中傷をする際にその動機となり得るものは以下のうちどれですか（どれだと予測されます

か)。また、その選択の理由を出来る限り具体的に説明して下さい。
*次の動画はTikTokのレコメンド機能により無作為に抽出しました。

動画I（夫婦が流行っている芸人さんのネタをマネする動画#この家庭の子供は幸せ、とのコメント付き）

動画II（男性が女性の食事代も払うことは当然だ、と男性が力説している動画）

動画III（女性2人が曲に乗せて踊っている動画）

A. ドリームキラーモデル

対象の夢や目標を「助言（あなたのために言っている〜）」「嘲笑（馬鹿にする）」「断定（あなたにはできない）」を手段として諦めさせたい

B. 自己評価維持モデル

自己評価が高まるような事柄→賞賛したい
自己評価が下がるような事柄→拒否・抵抗したい

C. その他（どちらでもない）

[アンケート結果]

- ①いいえ→9名
- ②いいえ→9名
- ③動画I→A1名・C8名

[理由・説明]

C	面白くない
C	元ネタを面白と思わないため面白くない
C	投稿者の書いている文（この家庭の子供は幸せ）が引くかかる。
C	キモい。
C	内容について共感が出ない
C	「平和な〜アンチコメントいりません。」という文があるため逆に反応してしまう。
C	バックサウンドのリズムが嫌い。

動画II→A2名・B5名・C2名

[理由・説明]

A	#のコメントに着目して「モテたい」という願望に対して否定的なコメントをぶつける。
A	自身があまりモテないから、モテそうな投稿主を否定する。
B	動画内容への納得から「これに賛同すれば自己評価が高まる」という思い
B	普段の自身の行動と動画内容を比較したとき、自身の行動が否定されてしまうから、動画を否定する。
C	「美容にお金をかけていない女性もいるのだから偏見になるだろ」と言う。
C	投稿者自身が男性であるにも関わらず、さも自分のこの様に上から目線で言っていることが気に入らない。加えて言葉遣い。

動画III→A2名・B1名・C6名

[理由・説明]

A [ⓐ]	自身の容姿に自信がないため、自分のことを「可愛い」と思ってそう <u>な</u> 彼女らを否定したい。嫉妬。ⓐ
B [ⓐ]	投稿者と自身の容姿を比較し、自身を肯定するために相手を否定する。もしくは、自身よりも容姿が劣っていると感じる方と比較して悦に入る。ⓐ
C [ⓐ]	自分のことを「可愛い」と思ってそうだと思ひ込み粗探しをして攻撃する。ⓐ
C [ⓐ]	容姿に対する嫉妬から承認欲求を否定する。ⓐ
C [ⓐ]	特に何とも思わない。ⓐ
C [ⓐ]	しいて言うなら、しょうもない動画撮るなってコメントする。ⓐ

この結果から、まず動画Ⅲ（コメント率低×攻撃性無）だけに、「特に何とも思わない」や「しいて言うなら…」等、回答者のコメントしづらい様子が見受けられた。そのため、これは「誹謗中傷行為」には発展しづらいと判断し、本調査（アンケート）では除外することにした。また、動画Ⅰ（コメント率高×攻撃性有）と動画Ⅱ（コメント率高×攻撃性無）の結果比較から、TikTokにおいて、「認知」→「誹謗中傷」までは「ステレオタイプ」と「勝手な想像（妄想）」の2つのルートが存在すると仮説を立てた。その理由は、動画Ⅰには「キモい」など典型的な根拠のない他者を貶める感想が見られた。一方、動画Ⅱでは多くの方が現在の自身の行動を動画内容に当てはめて肯定するか否定するかを判断していた。この2つの動画の違いは、「興味の深度」だと仮定した。動画Ⅰは興味が浅いため印象形成において、工数を減らすためにも用いられていると考えられている「ステレオタイプ」が使われる。動画Ⅱは動画Ⅰよりも興味が深いと、対象の印象を1から作り上げそれを自身に当てはめるといった段階にまで至っているからだと考察した。

つまり、動画Ⅰ・Ⅱが「認知」→「誹謗中傷行為」まで、別のルートを通っていると仮説を立てた。本調査（大学生に向けたアンケート）では、

①動画Ⅰと動画Ⅱでは「認知」→「誹謗中傷行為」までのメカニズムが興味の深度を境に「ステレオタイプ」か「勝手な想像」どちらを用いるかで2分化異されること

②「悪印象」→「誹謗中傷行為」までの「動機付け」は「ドリームキラーモデル」・「自己評価維持モデル」なのか

この2点の仮説の検証となる。

7. 本調査（大学生 51 名を対象にしたアンケート）

大学生 51 名を対象に LINE を用いてアンケート実験を行った。対象者は無作為ではなく、私の友人 57 名に加えて、高知大学陸上

部の皆様にもご協力頂いた。

アンケートの流れは回答者が誹謗中傷すると仮定して次の様に行った。

【動画視聴】→【誹謗中傷すると仮定した場合の動機】→【その理由】→【対象の判断方法（ステレオタイプか勝手な想像か）】

これを4つの動画に対して行う。動画Ⅰ・Ⅱは「コメント率高×攻撃性有」、動画Ⅲ・Ⅳは「コメント率高×攻撃性無」で分けられている。また、質問③・⑤・⑦・⑨の(1)~(4)の選択肢は(1)・(2)が動機付けの「ドリームキラーモデル」の説明で(3)が「自己評価維持モデル」の説明というように分かれている。予備調査において、それぞれの動機付けが「よく分からない」というご指摘を頂いたため、選択肢にしてより分かり易いように設定した。このような情報は回答者には伝えていない。

ここで本調査の目的（仮説）を再度確認しておく。

①動画Ⅰ・Ⅱと動画Ⅲ・Ⅳでは「認知」→「誹謗中傷行為」までのメカニズムが興味の深度を境に異なること

②「悪印象」→「誹謗中傷行為」までの「動機付け」は「ドリームキラーモデル」・「自己評価維持モデル」なのか

この2点にある。

【アンケート内容】

質問①：これまで SNS 上で少しでも誹謗中傷しようと考えた経験がありますか？

はい・いいえ

質問②：実際 SNS 上で行った経験はありますか。

はい・いいえ

これから見ていただく動画は、TikTok のレコメンド機能により無作為に抽出したものです。仮に動画を見て誹謗中傷の動機が自分に生まれたことを想定してください。

まず、動画を見てください。

（動画Ⅰ）投稿者の思う「嫌われるキャバクラ嬢」をランキング形式にして発表する動画

質問③：あなたが誹謗中傷をするとすれば、その動機となり得るのは以下のうちどれでしたか？一つ選んでください。

- (1)動画の内容が自身と対象を比較して優越していて嫉妬する。
- (2)投稿者の「願望」(夢など)がうらやましくて否定してみたい。
- (3)動画と将来や現在の自身を比較して「自己を他者よりも劣ってとらえてしまいそう」なので、動画内容を低く評価したい。
- (4)上記のどれでもない

質問④:③で選んだ(1)～(4)の理由として最も近いのは次のどれですか?

また、なぜそうなったのか、【説明】してください。

(1)わりと簡単に「この人はこんなタイプの人だ。だから、こんなことをするのだ!」という型にはめてしまい、その先入観で考えってしまった。

(2)型にはめた先入観は無かったが、その人に興味を持ったので、自分で勝手にその人について想像を膨らませてしまった。

【説明】なぜ(1)または(2)のようになったか?動画からどんな影響を受けたか?など

次の、動画を見てください。

(動画II) Instagramに「明けましておめでとう」と投稿する人が鬱陶しいと思う投稿者がそれを公言する動画

質問⑤:あなたが誹謗中傷をするとすれば、その動機となり得るものは以下のうちどれでしたか?一つ選んでください。

- (1)動画の内容が自身と対象を比較して優越していて嫉妬する。
- (2)投稿者の「願望」(夢など)がうらやましくて否定してみたい。
- (3)動画と将来や現在の自身を比較して「自己を他者よりも劣ってとらえてしまいそう」なので、動画内容を低く評価したい。
- (4)上記のどれでもない

質問⑥:⑤で選んだ(1)～(4)の理由として最も近いのは次のどれですか?

また、なぜそうなったか、【説明】してください。

(1)わりと簡単に「この人はこんなタイプの人だ。だから、こんなことをするのだ!」という型にはめてしまい、その先入観で考えってしまった。

(2)型にはめた先入観は無かったが、その人に興味を持ったので、

自分で勝手にその人について想像を膨らませてしまった。

【説明】なぜ(1)または(2)のようになったか?動画からどんな影響を受けたか?など

次の、動画を見てください。

(動画III) 「学歴は必要」という投稿者の意見を公言する動画

質問⑦:あなたが誹謗中傷をするとすれば、その動機となり得るものは以下のうちどれでしたか?一つ選んでください。

- (1)動画の内容が自身と対象を比較して優越していて嫉妬する。
- (2)投稿者の「願望」(夢など)がうらやましくて否定してみたい。
- (3)動画と将来や現在の自身を比較して「自己を他者よりも劣ってとらえてしまいそう」なので、動画内容を低く評価したい。
- (4)上記のどれでもない

質問⑧:⑦で選んだ(1)～(4)の理由として最も近いのは次のどれですか?

また、なぜそうなったか、【説明】してください。

(1)わりと簡単に「この人はこんなタイプの人だ。だから、こんなことをするのだ!」という型にはめてしまい、その先入観で考えってしまった。

(2)型にはめた先入観は無かったが、その人に興味を持ったので、自分で勝手にその人について想像を膨らませてしまった。

【説明】なぜ(1)または(2)のようになったか?動画からどんな影響を受けたか?など

次の、動画を見てください。

(動画IV) お餅や白米のような精白されている食品は体に良くないから出来るだけ控えろと少し命令形に公言する動画

質問⑨:あなたが誹謗中傷をするとすれば、その動機となり得るものは以下のうちどれでしたか?一つ選んでください。

- (1)動画の内容が自身と対象を比較して優越していて嫉妬する。

- (2)投稿者の「願望」(夢など)がうらやましくて否定してみたい。
- (3)動画と将来や現在の自身を比較して「自己を他者よりも劣ってとらえてしまいそう」なので、動画内容を低く評価したい。
- (4)上記のどれでもない

質問⑩: ⑨で選んだ(1)～(4)の理由として最も近いのは次のどれですか?

また、なぜそうなったか、【説明】してください。

(1)わりと簡単に「この人はこんなタイプの人だ。だから、こんなことをするのだ!」という型にはめてしまい、その先入観で考えてしまった。

(2)型にはめた先入観は無かったが、その人に興味を持ったので、自分で勝手にその人について想像を膨らませてしまった。

【説明】なぜ(1)または(2)のようになったか?動画からどんな影響を受けたか?など

8. 結果

8-1①・②結果

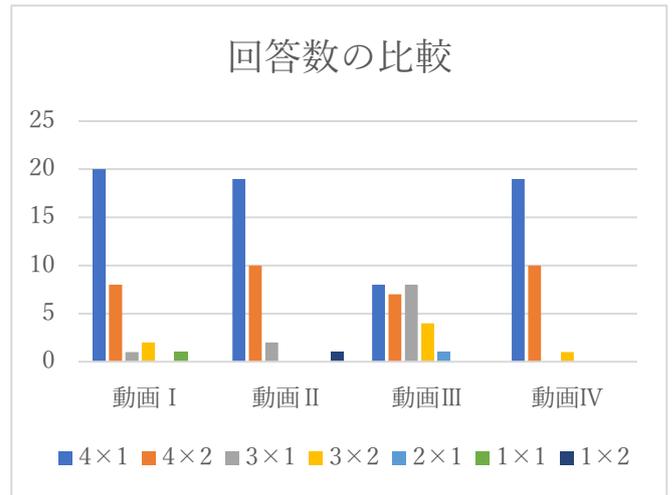
(3).【誹謗中傷を「しようとした」、または「した」経験を訪ねる質問の結果】

	はい	いいえ
誹謗中傷しようと考えた経験があるか	3	48
実際に誹謗中傷した経験があるか	0	51

8-2③～⑩結果

(4).【組み合わせと回答数の比較】

動機付け×判断方法(ステレオタイプ・勝手な想像)の組み合わせに共通点や特徴が見られるか・どの動機付けでどの判断方法が多く選択されているのかという2点を考察するために掛け算での集計を選択した。



(5).【動機付け×判断方法】

1×1→ドリームキラーモデル×ステレオタイプ

1×2→ドリームキラーモデル×勝手な想像

2×1→ドリームキラーモデル×ステレオタイプ

3×1→自己評価維持モデル×ステレオタイプ

3×2→自己評価維持モデル×勝手な想像

4×1→どちらでもない×ステレオタイプ

4×2→どちらでもない×勝手な想像

内容(回答者:説明、理由)

全ての説明、回答は付録に載せることとする。ここでは、各種類3つ以内を抽出した。(完全に無作為に抽出した)

*表の「?」は回答者が選択できておらず不明になったため、「?」としている。

(6).【回答者の選択理由・説明】

動画 I (コメント率 高×攻撃性 有)	1×1 ・その人の意見の言い方や態度からそう思ってしまった
【動画内容】 投稿者の「嫌われるキャバ嬢」をランキング形式にして発表する動画	4×1 ・人の悪いところしか見ることが出来ない人だと思った ・キャバクラでお金を使う余裕のある人と認識して見ているため、否定的な動画内容に対してわざわざケチをつけなくても良いのに・「面倒くさそう」と感じた ・自分が正しいという前提で話している様子だったから

	<p>4×2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画内容に全く関心がなかったため、先入観も無かった ・自分もキャバクラなどが好きなため、こういう考え方の人もいることを想像しやすかったから ・そういう世界があるのだ、と自分の知らないことを知ったという感覚のみ <p>3×1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「嫌だ」と感じた張本人が発言しているため、「そうなんだ」と感じた <p>3×2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未知のカテゴリーに対する動画だったため、単純に興味を持った ・納得する箇所はあったが、自慢と感じられたから
<p>動画Ⅱ (コメント率高×攻撃性有)</p> <p>【動画内容】 Instagramに「明けましておめでとう」と投稿する人が鬱陶しいと思う投稿者がそれを公言する</p>	<p>3×1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も Instagram のストーリーに投稿していたから ・投稿者の意見が自分の中では「偏見なのは？」と思い、さらに言い過ぎだと思ったため、悪いイメージが膨らんだ <p>4×1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性格が歪んでいると感じた ・言葉の乱暴さが目立ったから ・理由なし×3 <p>4×2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身とはあまりにも異なる考え方に驚き、ひねくれをネタにしているのだとしても「面倒くさい」と感じた。 ・「偏見がすごい」と感じた ・そんなに怒ることではないのに、という自分の意見から、「心の狭い人なのか」と動画から勝手に想像を膨らました。 <p>4×?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけおめをインスタも自分にあげていたので、特に何も思わなかった。人のストーリーを見る時間もなかったため、共感できなかった。

	<p>1×2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい考え方を持つ人だと感じた
<p>動画Ⅲ (コメント率高×攻撃性無)</p> <p>【動画内容】 「学歴は必要」という投稿者の意見を公言する</p>	<p>4×1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と比較して羨ましいと感じた ・「普通に考えてみてください」という言葉を上から目線と感じたから ・学歴がない=悪いという印象を持ち、メッセージを伝えるためには言葉を選ばない人なのだという先入観で考えました。 <p>4×2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通な人生を送りたいと感じた。 ・理由なし×3 ・お前も頑張れよって思った <p>4×?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その通りだなと共感したので、特に言うことはない。しかし、コメント欄でどんな事が話題になっているのかはみた。 <p>3×1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身や自分の経歴に自信がある人という先入観を持って、持論を押し付けている印象を感じたことと自分自身が学歴に対してコンプレックスがあるのでこの動画を見て卑下しそうだと感じた ・投稿者はそういう発言が出来る部類(学歴がある)なのだと「羨ましさ」から推測した ・「学歴」でマウント取りそうな人だと思った <p>3×2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感。学歴に関してはあった方が良い ・理由なし ・私は学歴があまり良くないため、否定された気持ちになった。だから、相手についてじっくり考え、否定したい <p>2×1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が成功しているから言える。ただの成功者だと思った <p>1×2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正論であるし、自分よりも優秀そうに見えたから

	<ul style="list-style-type: none"> ・頭が良さそうだったから ・自分と比較した結果、嫉妬してしまう内容だったから
動画Ⅳ (コメント率 高 × 攻撃性 無) 【動画内容】 お餅や白米の ような精白さ れている食品 は体に良くな いから出来る だけ控えると 少し命令形に 公言する	4×1 <ul style="list-style-type: none"> ・根拠が無く、よく分からないと感じた ・理由なし ・白い食べ物=悪い食べ物という印象を持ち、 いろんな立場の目線を考えられない人なのだ などという印象で考えました。 4×2 <ul style="list-style-type: none"> ・うるさい ・そういう考え方もあるのだ、と感じた ・強く同感だと思った 3×2 <ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活を送っている自分が一般の人 よりもあたかも上であるかのような内容に腹 が立った

9. 考察

本調査の結果から、私の仮説の一部を立証することが出来た。一つずつ整理していきたいと思う。

【①動画Ⅰ・Ⅱと動画Ⅲ・Ⅳでは「認知」→「誹謗中傷行為」までのメカニズムが興味の深度を境に「ステレオタイプ」か「勝手な想像」どちらを用いるのかが異なること】

まず、これについて動画Ⅰ・Ⅱと動画Ⅲ・Ⅳで「認知」→「誹謗中傷行為」までのメカニズムが二分化されることはなかった。本調査の結果、動画Ⅲ以外は回答数で比較したところ、本研究において興味が浅いことを示す「ステレオタイプ」が、興味が深いことを示す「勝手な想像」よりも圧倒的に多かった。動画Ⅲだけは僅差で「ステレオタイプ」が多いという結果だった。

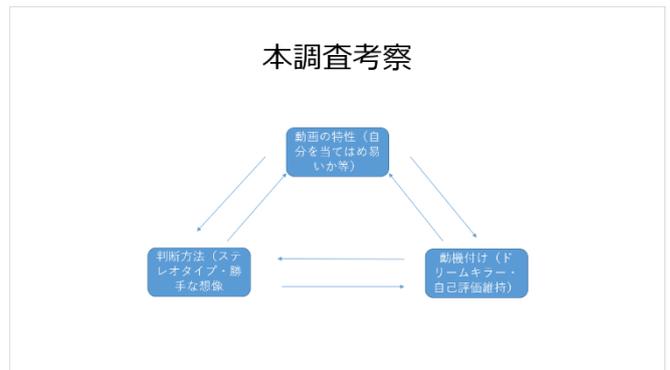
【②「悪印象」→「誹謗中傷行為」までの「動機付け」は「ドリームキラーモデル」・「自己評価維持モデル」なのか】

次はこれについて、この2つの動機付けでは示すことのできない動機がほとんどであった。「自己評価維持モデル」は各動画で少数ではあるが、選択されているが、「ドリームキラーモデル」はほとんど選択されていない。つまり、「上記のどれでもない」が大半を占めたということである。それは、この2つではなく他にある

ことを示していると考察した。また、①と同様に動画Ⅲだけは異質であり、2つの動機付けの選択数が他の動画と比べて圧倒的に多いことが分かった。

この結果から、動画Ⅲには他の動画にはない「勝手な想像」と「2つの動機付け（特に自己評価維持モデル）」を選択させる動画の特性があるのではないかと考え、それは相互に作用しあっているのではないかと考察したため推論していきたいと思う。(下図参照)

(7). 【本調査結果からの推論モデル】



まず、動画Ⅲの他の動画と異なる特性を幾つか抽出した。

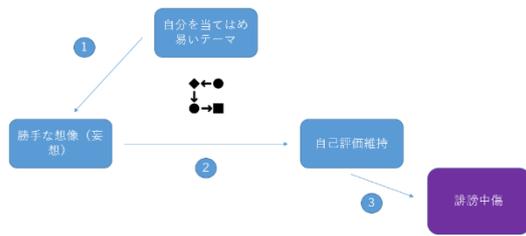
- ①回答者が自分を当てはめ易い動画内容か
- ②動画の趣旨が肯定的か否定的か
- ③投稿者の話し方

この3点を「動画の特性」として比較していこうと思う。

①について、動画Ⅲの回答者の意見では「学歴」というテーマで自分と投稿者や学歴の高い人を比較して卑下するコメントが多く見られた。これは回答者が大学生に限定されていることも関係していると考えられる。ベネッセ教育総合研究所の「大学への進学理由」という調査では実に67.2%の人々が「大学卒業の学歴が欲しいから」と回答している。この結果もあり、大学生の「学歴」への関心が高いことも自分と比較してしまう要因になっていると考察する。そして、その興味関心の高さが「勝手な想像」へと繋がりが、「自己評価維持モデル」→「誹謗中傷行為」へと繋がっているという1つのルートを導いた。(下図参照)

(8). 【動画特性①の推論モデル】

本調査考察

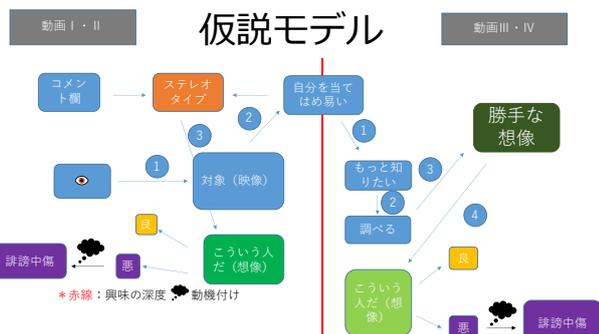


次に②について、動画Ⅰは「特定のキャバクラ嬢を否定する動画」、動画Ⅱは「Instagram にあげおめと投稿する人を否定する動画」、動画Ⅲは「学歴は必要だということを強く肯定する動画」、動画Ⅳは「精白された食品を食べることを否定する動画」、このようにⅠ・Ⅱ・Ⅳ：Ⅲに分かれるが、回答者の意見を見てみると、動画Ⅲでも否定されたと感じる人もいることが分かった。加えて、動画Ⅳには「否定されたと感じた」というような意見は一つもないため、この特性はあまり有効ではないと判断した。

最後に③も動画Ⅲのみ温厚な雰囲気でも、また敬語で話されており、動画Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ：Ⅲの構図が出来上がると推測していたが、回答者の意見から、口調・話す態度に対するコメントがⅠ：6、Ⅱ：6、Ⅲ：2、Ⅳ：1という結果になったため、動画Ⅲに限られた特性とは言えないため、有効ではないと判断した。

その結果、①のみが有効で仮説モデルの一部が証明された。

(9). 【本研究の仮説モデル】



上記の仮説モデルの右側の1つのルートを実証できたと言える。これが本研究の成果である。

10. 本研究の限界と今後の課題

(1)私の「主観」が大きく影響したこと

本研究は「動画の種類分け・動機付けの抽出」において、私の主観による分析が影響した。まず、「動画の種類分け」について、100個の動画を見て、「いいね数・コメント数・攻撃性の有無」の3点で3種類の動画に種類分けしたが、いいね数・コメント数の多少やそのコメントの攻撃性の判断も私の主観でいくつかの条件をつけて行った。(詳細は付録に載せる) また、「動機付けの抽出」も負の行動に繋がると考えたものを私の主観で抽出した。つまり、私以外の人が同じ研究をやるとまた違う結果になるかもしれないという疑念を残す結果となった。

(2)アンケートにおける限界

本研究は予備調査・本調査を通して、「誹謗中傷行為」をしたことがあるという人はいなかった。それは、したことのない人に「すると仮定」させる、想像になってしまう。実際にその行為を「したことのある人」にインタビュー調査をし、アンケートを取るとより正確な研究になると考える。

また、回答者の性格や属性は1人1人異なるにも関わらず、同じ質問を投げることになった。これも、何かの属性の人だけに厳選すると、その範囲内だけではあっても、より正確な結果が得られると考察した。

以上の2点が本研究の限界である。

次に今後の課題は、

①動画の種類分けを「いいね数・コメント数・攻撃性の有無」の3点ではなく、「動画の特性」を分析して種類分けをすること。

「動画の特性」とは「自分を当てはめ易い動画内容か」「動画内容が肯定的か否定的か」などである。本研究の推論から「動画の特性・判断方法・動機付け」の3点は一部相関があると明らかになったため、その3点それぞれをより詳細に種類分けすると、推論がより一層鮮明になることが期待できる。

②「動機付け」の抽出からアンケート調査し、より負の行動に繋がりがちなものを、本研究よりも多く抽出すること。この過程では私の主観が大きく反映されたため、今後はそこからより一般的な根拠のあるものを抽出する必要があると考察した。

この2点に留意して行うとより正確で本研究の目的が鮮明になると考察した。

11. 謝辞

本研究を進めるにあたり、アンケート調査で協力して下さった学内、学外の皆様、那須清吾教授、並びに那須研究室の皆様にご心より感謝申し上げます。

引用文献

【背景】

(1) 総務省 | インターネット上の違法・有害情報に対する対応 (プロバイダ責任制限法) | インターネット上の誹謗中傷への対策
(soumu.go.jp)

【仮説設定】

(1) [連続体モデルについて]
印象形成 | 社会心理学 (kagaku-jiten.com)

【考察】

(1) ベネッセの調査
進路選択に関する振り返り調査 - ベネッセ教育総合研究所
(benesse.jp)